



©Yuki Asada

織物が生み出す希望

“世界一美しい湖”ともいわれる中米グアテマラのアティトラン湖。そのほとりにある緑豊かな町、サン・ファン・ラ・ラグーナには、年間を通じて、世界各地から多くの人が訪れる。

その町中にある作業場では、この日もお母さんたちがなんだか忙しそう。機織り機をてきぱきと操って布を織り、針と糸を使ってきめ細やかに縫い合わせる。その手さばきは、まるで魔法のよう。バッグやブックカバーなど、彼女たちの手にかかればお手のもの。観光客にも大人気の商品の出来上がりだ。

そんなグアテマラの女性たちが生み出す織物の美しさにひかれたのが、青年海外協力隊としてこの国で活動していた大久保綾さんと高崎真理子さん。その魅力

を多くの人に伝え、彼女たちの生活の支えにもなればと、帰国後にブランド「ilo itoo」を立ち上げた。

「ものづくりを通じて、彼女たちと仕事の喜びを分かち合い、日本人たちにもグアテマラのことをもっと知ってほしい」と口をそろえる2人。日本とグアテマラ、互いにアイデアを出し合いながら、たくさんの素敵な商品が生まれている。女性たちの中には、新たに収入を得る手段ができたことで、一念発起して大学に通い始めたメンバーもいるという。作業場はいつも笑顔があふれている。

カラフルな糸が織り成す、個性いっぱいの織物の商品。遠く離れたグアテマラから、あなたの生活に彩りと温かさが運ばれてくる。



「こんな商品はどう?」。女性たちもどんどんアイデアを出してくれるようになった

★グアテマラのブックカバーを1人にプレゼント!→詳細は38ページへ

★製品の販売情報はホームページ(iloitoo.jp/)まで



グアテマラ
サン・ファン・ラ・ラグーナ